

Rotary



# 宮崎南週報



## 感動と充実で豊かな夢と輝きを!

宮崎南ロータリークラブ  
会長 日高 章智

### 第1803回例会

2014.9.8

会長／日高 章智 幹事／入佐 秀幸  
副会長／川野 一義 会報／戸高 勝利  
例会場／宮崎観光ホテル  
ソング／奉仕の理想、四季の歌  
ロータリーの綱領／

### 会長挨拶

日高章智会長



本日は郷土の代表的な儒学者、安井息軒先生の顕彰と文教意識の高揚を図るためご活躍されています安井息軒顕彰会の理事長若友弘子さん、事務局長の黒木幸英さんをお迎えしています。息軒先生の偉業と顕彰を県内外に広めるためと支援体制の育成強化についての講演です。皆さんのご支援ご協力をお願いします。

昨日のニュース、今朝の新聞は日本の錦織、錦織の一色でした。全米オープンテニスで世界ランク1位のノバク・ジョコビッチ選手を破り日本選手として史上初めて決勝進出する歴史的な快挙を成しとげ、日本中が歓喜に沸いた1日でした。体力的に劣る錦織が数々の難敵を倒してきた自信で最後の決戦で夢を完結してほしいものです。

国内では女子プロゴルフトゥアード宮崎出身の大山志保選手が3日間首位を守り今期初優勝を果たしました。度重なるけがとの戦いにもがき苦しんだからこそこの優勝は価値があります。若い子には負けたくないと37才の彼女は東京オリンピックを目指しています。

次ぎに私なりの健康について一言申し上げたいと

### 出席委員会報告

分田正明委員長

#### ●出席状況

本日状況	
会員数	(38) 39名
本日欠席者数	14名
本日出席者数	25名
出席率	67.57%

前々回状況	
会員数	39名
ホームクラブ出席者数	26名
メークアップ数	0名
修正出席者数	26名
修正出席率	68.42%

#### ●前々回メークアップされた方／

ニコニコ BOX 0件 累計 0円  
0円 30,000円

募金箱 累計 5,446円  
5,446円 57,347円

思います。

血液が体内を循環するには心臓から押し出す力だけでなく足先から血液を押し出す必要があります。ふくらはぎは第二の心臓であると言われています。人間の血液の70%は下半身に集まって居るそうです。しかしながら便利で快適な現代生活によって、人間の体が本来の機能が衰え滯貨退化しつづけています。ふくらはぎをマッサージすることで全身の血行が改善され、病気の克服や健康増進の大きな助けになると確信します。ふくらはぎマッサージは簡単・安全で効果が体感できるので飽きっぽい人でも続けられると思います。皆様の健康管理に役立てて下さい。

### 幹事報告

入佐秀幸幹事



- 月信9月号 訂正とお詫びがきております。22ページ「入退会報告」
- 2017~2018年度ガバナー決定  
宮崎北ロータリークラブ  
押川弘巳会員

### Rotary ロータリー情報

### 新会員の参加 (Involvement of New Members)

クラブは、すべての新会員に対し、クラブ協議会や地区大会を含め、クラブと地区の行事に出席するよう奨励すべきである。クラブはまた、可能な限り、新会員をクラブ委員会に配属すべきである。

## 委員会報告

### 親睦委員会報告

山本典広委員長



- ・10月5日(日)ゴルフ会を行います。
- 場所 レイクサイド。8:50集合。
- 9:24スタート。
- ・例会時の席を抽選で決めて座るよう

にしました。

### 本日のプログラム

#### ゲスト卓話

##### 安井息軒卓話

理事長 岩友弘子様・事務局長 黒木幸英様



岩友弘子様



黒木幸英様

みなさん こんに  
ちは。

ただ今紹介のあり  
ました、安井息軒顕  
彰会事務局長の黒木

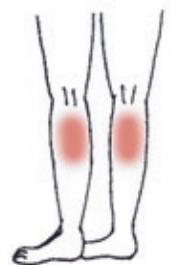
です。

この安井息軒の卓話については、ロータリークラブの早瀬理事から何らかの支援を考えているので、顕彰会の話ををお願いしたいとの依頼がありましたので、快く引き受けた次第です。

私は、県庁を定年退職し、地元清武町社会福祉協議会の事務局長（合併後は宮崎市社会福祉協議会清武支所長）を勤務し、昨年3月に退職し、4月から安井息軒顕彰会の事務局長に就任しました。

先ほど日高章智会長から、宮崎女子短大の野口逸

#### ふれあいメッセージ



ふくらはぎをマッサージす  
ると、下半身の血液を心臓  
に戻すポンプの役割をす  
ぐれます。ふくらはぎは“第  
二の心臓”です。。。朝6時か  
ら水泳を続けておられる会  
長の健康アドバイスは、説得  
力がありました。 (K.T)

三郎学長が漢文学の先生で安井息軒の研究をされていましたとのお話をましたが、実は私の父が、清武町の教育長時代に、慶應大学の斯道文庫から複写資料をいただき、野口学長に解釈をお願いしていた経緯で、一緒に研究仲間ではなかったかと思います。

さて、安井息軒先生は、清武生まれ、若いころから「日本一の学者になろう」と勉強に没頭し、15、6歳の頃には中国古典の四書等、自宅のすべての本を尽くし読み、もっと勉強がしたいと、大阪の篠崎小竹の元で、また、江戸の昌平齋で学問に取り組みました。しかし、旅立つに必要な旅費等については、清武郷、城ヶ崎（赤江）の豪商である南村氏が協力しており、学問を研究する息軒親子の周りには良き理解者がいました。

息軒先生は、江戸で開塾した三計塾では、西洋の法に近い中国古典の管子を勉強していましたので、江戸幕府の終わりから明治維新に活躍した多くの指導者が育ちました。また、自ら足を運び、欧米列強の侵略等に対抗していくためには、富国強兵、殖産興業が必要であると説き、幕府や藩に上申しています。現在の国際情勢にも似た状況にあります。

私たちは息軒先生の多くの偉業を学ぶため、先生に関する著書等を収集し解説等して、県内外に発信していくことが、息軒先生の志（こころざし）と偉業の顕彰に繋がるものと考えています。そのため、昨年度にNPO法人化、本年度に「安井息軒かるた」作成、ホームページの立ち上げを行い、組織体制等の強化さらには情報収集・発信力を向上することとしましたが、まだまだ不十分な状況にあります。

そのためには、ここにおられる皆様方のご理解、ご支援が必要ですので、会員申込書が同封してありますので、是非会員となっていただきますようよろしくお願いします。

今後とも、当顕彰会をよろしくお願いします。

(御清聴) ありがとうございました。

#### ●事務局より ~奥野由美~



週報の原稿は毎週水曜日までに  
必ず入稿下さいますようお願い  
いたします。